

川島地区 CS 小中学校共通学校評価アンケート【児童】分析

川島小学校 154 人中 133 人回答 回答率 86.4 % 20 項目

肯定群「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の割合が高い 5項目

問 7	いじめはどんな理由があってもいけないことだ。	97.0%
問 3	友達と協力するのは楽しい。	94.7%
問 15	チャイムの合図や時間を守っている。	89.4%
問 11	コンピュータやタブレットを使うのは勉強に役立つと思う。	88.0%
問 18	交通マナー（右側一列歩行、自転車では並進しない、一旦停止など）を守っている。	88.0%

肯定群「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の割合が低い 5項目

問 19	できるだけ本や新聞を読むようにしている。	48.9%
問 9	授業や行事など発言の場で、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している。	60.2%
問 13	毎日かかさず、家でも勉強している。	61.4%
問 20	身の回りの整とんや部屋の掃除など、自分の事は自分でできている。	67.7%
問 1	自分にはよいところがある。	68.4%

【考察】

- 問 7「いじめはどんな理由があってもいけないことだ。」が 97.0 %の肯定群ということから、人権を尊重する意識が高いことが分かります。本年度、吉野川市人権教育研究大会の指定校として研究実践を進めてきたことも、児童の人権意識が高まってきている要因と考えられます。今後も、SWPBS を軸として、実際の学校生活の中で関わる人に対して、自他ともに大切にする言動に結びつく指導を継続していくことが必要です。
- 問 3「友達と協力するのは楽しい。」が 94.7 %の肯定群ということから、学校生活においてグループ学習をしたり、清掃奉仕活動などを協力しながら行ったりすることに楽しさを感じていることが分かります。今後も協力することの重要性を認識させ、活動させていくことが必要です。
- 問 15「チャイムの合図や時間を守っている。」が 89.4 %の肯定群ということから、チャイムの合図を守り、定時に学習を始められることが定着してきていることが分かります。SWPBS の取り組み『川島っ子チャレンジプロジェクト』として全校で「チャイム着席」を徹底して取り組んできた成果ともいえます。
- 問 11「コンピュータやタブレットを使うのは勉強の役に立つ。」が 88.0 %の肯定群ということから、コンピュータやタブレット端末の活用が進み、学習効果が上がっていることを示しています。

○問 19「**交通マナー（右側一列歩行、自転車で並進しない、一旦停止など）を守っている。**」も 88.0 %の肯定群ということから、社会におけるルールの遵守や時間を大切にすることの意識が高いことが分かります。

○問 19「**できるだけ本や新聞を読むようにしている。**」が 48.9 %の肯定群ということから、児童の半数が、読書習慣の定着に関して課題が見られます。川島図書館と連携しながら、読書環境を充実させる取り組みをしていますが、定着度が低いため、さらに読書環境を充実させながら読書の習慣をつけていく必要があります。また、各家庭にも、読書（新聞を読む）の大切さについて啓発していく必要があります。

○問 9「**授業や行事など発言の場面で、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している。**」が 60.2 %の肯定群ということから、自分の考えや思いをうまく表現できない児童が4割近くいることが分かります。どのように表現すれば、相手に対して自分の考えが伝わるのかについて、スキルを高めていくことが必要です。

○問 13「**毎日かかさず、家でも勉強している。**」が 61.4 %の肯定群ということから、4割の児童が、毎日の家庭学習がきちんとできていないことが分かります。学習内容の理解が不十分であるのか、学習環境に問題があるのか等の原因を究明し、家庭への協力も呼びかけながら、学習習慣の定着を図る必要があります。

○問 20「**身の回りの整とんや部屋の掃除など、自分の事は自分でできている。**」が 67.7 %の肯定群ということから、約3割の児童が、学校や家庭で自分のすべきことの理解ができていない、あるいは、することが分かっている、何らかの理由でできていない状況です。家庭との連携を密にし、自力でできることを増やしていく必要があります。

○問 1「**自分にはよいところがある。**」が 68.4 %の肯定群ということから、約3割の児童が、自己肯定感が低いことが分かります。本年度、「川島っ子きらきら大作戦」の取り組み通して、児童のよさを認め賞賛する活動を行っていましたが、やや定着度が不十分なところもあります。今後も継続して、児童のよい言動に対して褒めたり、励ましたりしながら、自己肯定感を高めていくことが必要です。